

相模原消防署車庫改修事業に関するサウンディング型市場調査の 結果概要を公表します

相模原消防署車庫の防犯対策に資する施設改修の方法等の検討に当たり、庁内検討では把握することが難しい市場性の有無や民間のアイデア等を聴取するため、民間事業者等の皆様との直接対話を行う「サウンディング型市場調査」を実施いたしましたので、その結果の概要を公表します。

1 実施経過

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 令和6年12月26日(木) | 実施要領の公表 |
| 令和7年1月23日(木) | 事前説明会・現地見学会の開催
【参加団体：3団体】 |
| 令和7年2月12日(水)～
2月14日(金) | 対話の実施【参加団体：3団体】 |

2 調査内容

(1) 調査の目的

相模原消防署車庫へのシャッターの設置など、防犯対策に資する施設改修の方法等について、民間事業者のアイデアを募集する。

(2) 主な対話項目

- ア 防犯対策に資する車庫改修のアイデア等について
- イ 消防業務を継続した中での改修方法について
- ウ 工事期間や経費等について

3 結果概要

別紙のとおり

4 今後の予定

今回のサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、具体的な施設改修の方法等について、検討を進めてまいります。

【担当課】

消防総務課（施設班）

電話 042-751-9107

●結果概要

【対話項目 ア】防犯対策に資する車庫改修のアイデア等について

対話では、シャッターやゲートの設置に係る提案が2件、本事業の公募に向けたアドバイザー業務に係る提案が1件であった。

なお、シャッターやゲートの設置に関しては、いずれの提案も車庫前のスペースにシャッター等を支持するための枠及び間柱を設置し、施工する手法であった。

【主な対話内容】

- 構造的判断や法的扱い、施工方法等を同時に検証する必要があるが、既存の車庫は特殊な構造であり、それぞれの専門的知見が必要で、構造計算や法適合協議等にコストがかかり、事業者参画のハードルが上がる。また、発注者側にも提案の妥当性の検証や評価に専門性が必要となる。よって、サウンディング調査や事業者選定アドバイザーの発注者支援業務を提案する。
- 車庫の現状の課題を踏まえ、折れ戸タイプのゲートが効果的と考えるため提案する。一対のゲートで車両2台分となるため、車庫を3つ又は4つに区画することとなる。
- オーバースライダー手動式及び停電時に手動で開放可能な巻き取り式の高速シャッターの設置を提案する。なお、オーバースライダー式は既存の車庫の躯体への接続が必要であるが、巻き取り式は独立した設置が可能である。オーバースライダーは3区画、巻き取り式は4区画となる。
- 既存の車庫へ接続する場合は、関係法令の確認が必要となるほか、車庫の構造計算が別途、必要になると考えている。

【対話項目 イ】消防業務を継続した中での改修方法について

基本的には数台の消防車両を移動しながらの施工が可能であるが、施工方法によっては全面が使用できなくなる可能性があることが確認できた。

【主な対話内容】

- ゲートの設置自体は1区画（車両2台分）ごとの施工になるため、2台ずつ車両の移動が必要である。ただし、枠を組む際の土木工事は別途となるため、全面が使えないタイミングは出ると考えている。
- 車庫内を施工中は車両を前のスペースに出す必要がある。はしご車の区画を施工する際は車両の駐車位置を検討する必要がある。シャッターの枠となる部分の基礎は1本ごとに施工ができるため、施工箇所に影響がある車両のみの移動で対応が可能である。

【対話項目 ウ】工事期間や経費等について

製品ごとに納期が異なり、経費にも大きな差異があることが確認できた。

【主な対話内容】

- アドバイザー等の発注者支援業務は人件費が主な経費となる。調査業務や公募要項等の作成業務など、業務内容の量により経費は異なる。
- ゲートの設置自体は1か月程度で施工が可能であるが、近年の国際情勢等によりゲートの納品までに1年程度を要するため、複数年度での事業がやりやすい。
- オーバースライダー式で製作期間1か月程度・工事期間1か月程度、巻き取り式高速シャッターで製作期間4か月程度・工事期間1か月程度となる。
- オーバースライダー式の方が巻き取り式よりも安価となる。